



校長だより

呉市立市阿賀小学校
安宗 誠



二度と過ちを繰り返さないために ~原爆の日~

広島に原爆が投下されて76年目の今日8月6日、本校でも、犠牲者のご冥福をお祈りし、恒久平和に誓いを新たにするために、当時を振り返る時間を取り、1分間の黙祷を行いました。私から阿賀っ子には、次のようなことを伝えました。

原爆が落とされた当時、小学生だった子供達が書いた詩を紹介します。

当時5年生だった男の子の詩です。

板と板の中に はさまっている弟、うなっている。
弟は、ぼくに 「水！水！」と言った。
くずれた家の中には どうにも 入ることができなかった。
弟は、そのまま死んでいった。
せめて 水を汲んで 弟に飲ませてやりたかった。

当時3年生だった女の子の詩です。

原子爆弾で死んだおとうちゃん どんなくなって死んだのよ。
どうして 早くうちに帰って来なかったのよ。
おとうちゃん どうして わたしをおいて 死んだのよ。
今は おかあちゃんが おとうちゃんのかわりに しごとに行くようになった。
おにいちゃんは しんぶんくばりに 行くようになった。
どうして 広島に原爆が落ちたの？
お父さんを返して！

76年前のあの日、一瞬のうちに、そして、その後も火傷や放射能のため、次々と多くの尊い命が奪われたこと、今もなお後遺症に苦しみ続けている方々がおられることを思うと本当に胸が痛みます。

戦後76年の月日が流れ、戦争を体験した方がゼロとなる日もそう遠くはないでしょう。そうなったときでも、戦争を絶対にしない一人一人であるために私たちはどうあるべきでしょうか。

それは、「人は一人では決して生きていけないということ」を自覚し、感謝の気持ちをもって生きること」に尽きるのではないのでしょうか。「人のせいにする」「すぐ怒る」「我がまます通す」「人を困らせる・傷つける」「ものを粗末にする」・・・まわりを思いやれないこのような行為に走らない大元の心は「感謝の心」だと思います。1日1日をありがたい気持ちをもって生活できているか。自分自身を見つめ直す今日8月6日にしたいものです。

車両進入禁止時間帯変更のお知らせ

6月4日付校長便り9号でお伝えしました神田神社から宇根本歯科医院を経て、小林医院に至る全長約200mの市道（阿賀中央8丁目）の車両進入禁止時間帯が、9月1日から7：00～8：00に変更となります（これまでは7：30～8：30）。児童の登校実態を考慮したこの度の措置にお力添えを賜りましたすべての関係の皆様にご心からお礼申し上げます。

平和の祈りを込めて、黙祷！



各学級で平和学習！



猛暑の中でもすずすず！

